



国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

御殿場 ロータリークラブ

週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

第2835回 例会プログラム

- 例会場／東山荘講堂
- 開会点鐘／12：30 ● ロータリーソング／奉仕の理想
- 内 容／ガバナー補佐訪問
2620地区 静岡第2グループ ガバナー補佐
梅田 欣一 様（沼津柿田川IRC）

会 員 慶 事

- 会員誕生日／8月29日 勝亦敦志君
9月1日 白井良太君
9月1日 澁谷 一君
- 夫人誕生日／池谷正徳君 ご夫人 潤子様

会 長 挨 拶

渡 辺 修 司



クマ出没とゴルフ場

先月28日の熊本地震の記憶もまだ新しい中、今月13日には千葉県は今まで経験したことがないような豪雨災害に見舞われました。水につかり、動けなくなった車が約2700台、路上に残るという前代未聞の大水害となりました。心より被災された方々にはお見舞い申し上げます。

さて連日の熊本、千葉のニュースでかなり忘れられているとは思いますが「クマ出没」に関する話題。夏場になって多少は減ったとはいえ「住宅街にクマ」「通学路でクマ」と、これまで考えられなかった場所での目撃情報は相変わらずあります。まして、山間部に隣接していることが多いゴルフ場では、プレーを楽しむ人たちの間の不安はどうなのでしょう。

ただ、ゴルフ場側も住宅街などと同じく完全な対策は不可能で、だからと言って営業をやめるわけにもいきませんよね。もともと立地条件から野生動物との接触リスクはゼロではありません。今までもシカやイノシシによる被害が多かった場所でもあり、

猛暑など過酷な自然環境にさらされながら営業してきた背景からか、あるゴルフ場支配人の方は「実際ゴルフ場でクマの事故があったわけでもなく、油断は禁物だけれど冷静な対応を心掛けている。」と言っていました。これは、過剰な反応によってかえって恐怖を煽るような、二次被害防止の意味合いもあるのだと思います。

連日のニュースで“全国的にクマが出没している”という印象が強いものの、ゴルフ場からの問い合わせはごくわずかで、利用者の間ではまだ大きな不安にはなっていないようです。

クマに関するニュースが増える中、「山間部にあるゴルフ場は大丈夫なのか」という不安が広がりがちですが、ゴルフ場側は、必要以上に恐れる必要はないけれど油断もしない。という落ち着いたスタンスで対応しているようです。現状ではゴルフ場での出没情報もなく、利用者からの問い合わせもごくわずか。一方で近隣の目撃件数は増えているため、スマホ等での出没情報の確認や、撃退スプレーの備え、クマ鈴の作業員への装着。又、一部のゴルフ場では赤外線感知機能のあるドローンを朝飛ばして、安全を確認してからお客さんをスタートさせるなど、ゴルフ場側も油断せず万全を期すための対策を着実に進めているそうなので、皆さんもあまり怖がりすぎずにゴルフやってください。



会長挨拶は
こちら

8/20の出席報告

欠席者(3名)

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
53名	49名	46名	93.88%	100%

勝亦敦志君 小栗幹一君
田代明人君

※やむを得ず欠席される方は、
午前9時50分までにご連絡下さい。



司 会
永木栄太君

出席報告
林 泰博君

ソングリーダー
梶 喜朗君

会員誕生日
嶋田康一君 斉藤礼志君

7/30のメーキャップ

7月20日	北海道 E	田代明人君
7月26日	米山記念奨学セミナー	梶 喜朗君
7月26日	米山記念奨学セミナー	高橋隆造君
8月6日	北海道 E	石川又英君
8月10日	北海道 E	豊山 篤君

8/20の スマイル

- 大乘寺さんに息子と御朱印をもらいに行ってきました。コーヒーごちそうになりました。 芹澤正明君
- 先週土曜日のとびっきり静岡に当店が出ました。その後忙しくて大変でした。 石川又英君

ビ・グ スマイル



持続可能なインパクトを
生み出そう

次 回
9月3日の
例 会

★東山荘講堂 ★12:30
★ロータリーの友月間に因んで
ロータリーの友 地区代表委員
小原秀樹様（長泉RC）

地区会員増強セミナー を振り返って

～「選ばれるクラブ」への変革と
戦略的フォローアップ～



会員増強委員会
委員長

勝 又 淳君

1 はじめに： 8月卓話の背景とセミナー参加報告

今回の研修は御殿場RCが直面している会員減少という課題を、組織開発の観点から再定義し、戦略的な変革も検討した内容でした。これからの増強活動は、旧来の「人数の積み上げ」をゴールとするフェーズから、「いかにして選ばれ、会員が満足感を得られる楽しいクラブを構築するか」という質的転換が不可欠です。地区が突きつける厳しい現実を直視し、私たちの組織文化をアップデートしていく必要性を強く実感しています。

2 現状分析： 第2620地区を襲う「3年以内の退会」という衝撃

第2620地区の現況は会員数2,761名（マイナス7名）、北杜RCの解散による72クラブ体制という、縮小均衡の兆しを見せています。しかし、真に危惧すべきは数値の減少そのものではなく、その内実である「入会3年以内の退会者が極めて多い」という構造的課題です。新入会員が組織に定着できない主要因を構造化すると、以下の3点に集約されます。

- 価値提供の欠如
- 社会貢献の実感不足
- 心理的安全性の欠如

3 戦略的転換： 会員満足（積極的かわり）こそが活性化の鍵

第2880地区 山形北RCのパストガバナーである伊藤三之様より、「ストレスのないロータリーを目指して」という極めて本質的な提言をいただきました。組織開発の視点で見れば、会員が単なる「参加者（観客）」から「当事者（プレイヤー）」へと移行するプロセスこそが、ロイヤリティ（忠誠心）を高める唯一の道です。例会や会議で飛び交う「I M」「S A A」「クラブ奉仕・職業奉仕」「ロータリーレート」といった専門用語。これらを説明なしに放置することは、新入会員にとって「内輪ノリ」の壁として立ちちはだかります。この配慮の欠如は、新入会員の心理的安全性を著しく阻害し、定着を妨げる戦略的な危機（リテンションの失敗）に直結しているのです。

4 委員長からの具体的提案： これからの「ストレスのない会員増強」

これからの御殿場ロータリークラブは、活動内容（Doing）を押し出すだけの勧誘だけではなく、私たちの存在意義（Being＝理念・理想）を共有し、共感を得るアプローチも実行していきたいと考えます。

この「Being」を基軸とした変革を具体化するため、以下の2点を提案します。

1. 「自分で学べ」の完全封印と公式フォロー体制の確立：
メンター制度の導入や、入会後のオリエンテーションを定例化し、ロータリーの目的を体系的に伝える機会を設けたらどうか。
2. オープン例会の開催と「物語」の共有：
入会前にクラブの空気感を体験する「おためし例会」を実施。さらに例会内で、会員一人ひとりが「職業奉仕物語」や「ロータリー活動物語」を語り合う時間を設け、活動に「主観的な意味づけ」を行うことで、心理的な参画意識の醸成につながるのではないかと。

5 結びに代えて： 理想の3年間ロードマップ

会員増強とは、入会届を受理した瞬間に終わるものではなく、そこから3年をかけて「真のロータリアン」へと伴走するプロセスです。私たちは以下のようなロードマップを描きます。

- START（入会時）：
「何をするか」以上に、私たちが「何を大切にしているか（理念）」を誠実に伝える。
- STEP 1（1年目）：
用語や寄付の意義を丁寧にレクチャーし、情報の非対称性を解消。自らの物語を共有し、居場所を確立する。
- STEP 2（2～3年目）：
手厚いフォローを通じて活動の魅力を実感し、成功体験を積む。
- GOAL：
クラブの価値を確信した会員自身が、誇りを持って次の仲間を呼び寄せる「最強の増強サポーター」となる。御殿場ロータリークラブが、すべての会員にとってストレスがなく、高い満足感と誇りを感じられる場所であり続けるために。この戦略的な転換を、皆様と共に強力に推進していく決意です。



★2026年9月 御殿場RC例会プログラム★

9/3(木) (2836回)	12:30	東山荘講堂	ロータリーの友月間に因んで	ロータリーの友 地区代表委員 小原秀樹様（長泉RC）
9/10(木) (2837回)	12:30	名鉄菜館	御殿場市立図書館「ほんてらす」 について	御殿場市立図書館 ほんてらす 館長 河野 傑様
9/17(木) (2838回)	18:00	東山荘記念館	新会員卓話	小栗幹一君
9/24(木)	祝日週休会			

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長○渡辺 修司
幹 事○勝又 安彦
会報委員長○嶋田 康一